

在宅避難のすすめ

地震が起きたらまず避難所！と思つていませんか？

在宅避難とは、大規模な災害が起きたとき、備蓄物資を活用しながら、避難所ではなく自宅で避難生活を送ることを言います。災害が起こった時、避難所で生活することは選択肢のひとつに過ぎません。自宅とその周辺の安全が確認できれば、在宅避難を考えてみましょう！

※余震等の危険もある為、在宅避難をしていて少しでも自宅に危険を感じた場合は、迷わず避難生活施設など安全な場所に避難してください。



在宅避難のメリットは？



自宅でキャンプするイメージ！

○避難所の混雑を避け、感染症対策になる！

○住み慣れた環境でストレスが軽減し、プライバシーが確保される！

○乳幼児やペットのいるご家庭も、安心して過ごせる！



☞日ごろから、在宅避難ができる準備を！

- ・住まいの耐震化、家具の固定・ガラス飛散防止などの室内の安全確保を行い、地震で受ける直接の被害を軽減しましょう。
- ・最低3日、できれば1週間分を目安に、飲料水・食料品・携帯トイレ、その他必要なモノを備えましょう。ローリングストックもおすすめです。



☞在宅避難でも、避難生活施設での支援は受けられます！

- ・大和市の各避難生活施設では、支援物資が届き始めるなど支援ができる状態になった場合には、在宅避難の方にも、可能な範囲で支援を行うこととしています。
- ・災害時に物資が不足してきたり、情報収集のためになど、ためらわずに各避難生活施設へご相談ください。

マンションに住むひとは？

ポイント①：水や食料は、目安より多めに備えると安心！

⇒エレベーターが停止した場合、上層階へ重たいものを運ぶのは大変です。



ポイント②：トイレの備えを！

⇒上層階での排水が下層階で溢れる可能性があります。排水管の安全が確認できるまでは、携帯トイレなどを活用しましょう。

“公助”に頼りすぎない。自宅を一番の避難所にしよう！